拉声独崇

江戸時代に考案された木製のこまで、歴史は300年 以上。そのルーツは扇子や刀の上に乗せて楽しむ曲 芸でお馴染みの「曲独楽」です。そこから「からくり独 楽」や「ひねり独楽」などに派生しました。縁起物や悪 魔払いの意味があるという赤色が多く目立ちます。 広井さんが語った「こま雑談」の一部を紹介します。

◆からくり独楽

ありません。た

見たい」というと

ころで終わって

しまう。これがこ たいご。 のこまの醍醐味

◆曲独楽

曲芸用のこま。マジ シャンの方はパフォー



◆ひねり独楽

シンプルなこまが 一番難しい。〝お尻〟



ので、お気軽にお問い合わ作りすることもできます

ので、お気軽にお問い

ほしい。ご希望があればお

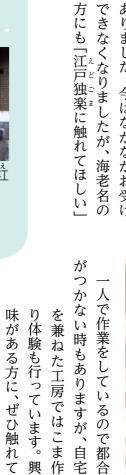


体験・販売の工房。軒先には材料の木材が積まれています。「江 戸独楽|作りには30年以上乾燥させたミズキとカツラを使用

広井木工所 ※都内で展示会のため1月15日 回まで不在 上今泉1-16-1 ☎233·1192

インターネット放送局で「海老名 の職人~江戸独楽~」を配信中で す。併せてご覧ください。

海老名市インターネット放送局 検索





のづくりや文化に対する関心が薄 ちは便利だけれど、その一方で、も くならないかと懸念しています。

文化を大切に 遊びやものづくり

どでこま作りを教えてい ありました。今はなかなかお受け ン講座、県の産業技術センター 以前はふるさとまつりやコミセ た時期も

てほしい」と願って

化に親しみ、いつまでも大事にし 「日本古来の遊びやものづくりの文

日本文化を継承する 海老名の

圕 シティプロモーション課 (235)4574

「正月にこまを回せばお金が回る」 と、縁起を担いで回すようになった

などの説から、こま回しは古くから正月定番の伝統ある遊 びです。しかし、現代の子どもたちの遊びは昔とはずいぶ ん違ったものになり、こま遊びをする子どもたちの姿を見 掛けることが少なくなりました。今号では、伝統工芸「江戸 独楽」を70年以上に渡って作り続け、国内外に江戸独楽 文化を継承している市内在住の職人の広井政昭さんに、 こまのこと、海老名のことなどを聞きました。



<mark>広井政昭さん</mark>(江戸独楽師 /上今泉在住・81歳)

特に「曲独楽」は、木を成型

乾燥・バランス調整

作り続けて70年以

いだ「曲独楽」や「からくり独楽」、上作っていますが、父から受け継がきっかけです。かれこれ70年以 私のオリジナルを併せたら1万種 系で、私で4世代目です。 もて余していた時に作り始めたの に友達が疎開してしまい、時間を まを作ったのは9歳の時。夏休み |ちました。代々江戸独楽師の家||私は東京都江東区大島で生まれ 初めてこ

後、色付け・

りましたね。海老名駅周辺には大ここ数年で海老名は大きく変わ回していたイン 回していたんですよ。 所でも、子どもたちがよくこまを られない光景ですが、正月には近 せ大山もよく見えました。今は見 この辺り一帯は海老名耕地が見渡 ました。当時は人口が5万人程で、 約40年前に上今泉に住まいを構え 子どもが 4人生まれ、縁あ つ

今と昔 海老名に住んで40年

状は難しい 誰かに継承してほしいけれど、 私と弟子を入れて3人だけです。 弟子がいましたが、現在の職人は、 は非常に厳しい。以前は30人ほど 江戸独楽師として生計を立てるの**ピニ゚*** 月かかります。「からくり独楽」は を繰り返す作業です。この工程を ~8回行い、制作には2~3カ

江戸独楽職人は3人だけ こま作りは手間と時間がかかり

広報えびな2017年1月1日号